

令和7年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	道の駅広報誌地域情報発信事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	地域づくり活動促進事業	分類名 (中項目)	地域連携・交流促進支援事業			事業区分	調査、資料収集

1. 事業目的

本事業は、「観光立国」を掲げる国の施策に対応し、北陸地域でも交流人口の拡大が予想される機をとらえ、圏内の道の駅で配布されるフリーペーパーに社会資本整備を通じた地域づくりの情報を掲載することで、北陸を訪れる道路利用者(不特定者)に地域の魅力を発見してもらうとともに、社会資本整備への関心・理解の深化を図るものである。

2. 事業実施体制

情報提供: 一般社団法人 北陸地域づくり協会
媒体: 「道の駅 旅案内 北陸版」(株)ゼンリン発行)

3. 事業実施概要

◆媒体概要

- ・媒体名: 「道の駅」旅案内 北陸版((株)ゼンリン発行)
- ・2015年3月に創刊号発行
- ・今年度は、2025年秋冬号(9月)、2026年春夏号(3月)の2回発行
- ・仕様: B4判カラー、見開き2ページ(本事業当該情報掲載)
- ・北陸管内「道の駅」に各号10万部を無料配布

◆掲載情報概要

これまでの「行って、見て、知ってもらう」インフラツーリズムの方針を踏襲しつつ、全7回シリーズ「ほくりくのまちづくりを巡ろう」と題して、地域のまちづくりとまちづくりを取り組む人達にスポットを当てるとともに、能登半島地震・豪雨災害の復興の取組とインフラ復旧に関わる地勢等を紹介

【2025秋冬号】

歴史まちづくりシリーズ最終回(7回目)となる25年秋冬号は、富山県高岡市の「加賀 前田家と商人の町に見る歴史的風致地区」と岐阜県高山市の「旧高山城下町の地割にみる歴史的風致」の歴史まちづくり計画の取り組みを紹介

【2026春夏号】

令和6年能登半島地震・豪雨災害からの復興を紹介するシリーズ第1段となる26年春夏号は、石川県内灘町の液状化被害からの復旧事業と被害を受けた生業の復興の取り組みを紹介

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

「道の駅 旅案内」北陸版は発刊から23号を数え、毎回発刊直後に在庫がなくなるほどの人気を博しており、多くの道路利用者に愛読されている。道路ユーザーが誌面で紹介された地域を訪れ、その地域の振興・活性化に大きく貢献することが期待できるとともに、今までとは異なるアプローチから社会資本整備の知識を得ることで、その重要性を理解する手段として有効である。



↑ 2025秋冬号(2025.9発行) / 2026春夏号(2026.3発行) ↓

